

夏本番。節電対策中の日本を猛暑が襲っていますが、皆さまは大丈夫でしょうか。標高400mを超えるO2Farmは、こんな時でもクーラーいらず。朝晩はヒヤッとすくらしいですが、日中はさすがに30近くまで上がります。炎天下で体を動かす作業はそれなりにハードです。でも、被災地のことを思うと、こうしていつも通り農作業ができることの有難さに感謝しています。

さて、就農以来最高のデキ！と言われた苗ではじまった今年の田んぼ。その後は...と言いますと、今のところ「概ね」順調に育っています。そして同時に草も育っています。概ね、と書きましたのは、棚田の一部が元気がないのです。害虫の「イネゾウムシ」にやられたのが原因の一つです。枯れるほどではないのですが、他の田んぼに比べて茎が増えない。イネは、植えた苗がそのまま大きくなっていくだけでなく、苗自体が根元から増えていきます。そのことを「分けつ」と呼びます。ところが、棚田の2枚があまり分けつしていない状態。苗を3本植えたところは、3本のまま。そんなわけで、他の田んぼと比べるとスカスカしていて何とも物足りない感じです。上が順調な田んぼで、下が心配な田んぼ。でもこれまでは梅雨のために日照不足でしたから、これからの暑さと日差しで回復してくれるかも知れません。望みは捨てずに、草取りや草刈りに励む日々です。

一口に「草」と言ってもいろんな種類があります。中でも圧巻は、「オモダカ」。圧倒的な存在感です。...って、感心しているわけではありませんが。そして次なるはコナギ。背は低いですが、ちょっと気を抜くと田んぼ一面を覆いつくす勢い。葉っぱがハート型で、恋愛農法にぴったり！...なわけありません。養分をとってしまうので、できるかぎり取ります。厄介者はヒエ。雑穀として食するものとは種類が違い、正確には「タイヌビエ」と言います。た=田、イヌ=植物の名前にイヌがつくと食べられないことを指すことが多い、という訳で、田に育つ食べられないヒエなんです。イネにそっくりなので見つけるのが大変。田植え機で植えた列から外れて生えているのはまず怪しいのですが、イネにくっついて生えているのが曲者。写真の中に、ヒエが混じっているのですが、分かりますか！？一つでも見落とすと、翌年にはそこら辺一体がヒエだらけに！とにかくものすごい生命力です。イネ科は食べないアイガモですから、イネも食べない代わりにヒエも食べない。というわけで、ヒエ取りは人間がやるしかないのです。



そのアイガモ。アイガモはアヒルとカモを掛け合わせたもの。アヒルの血が濃いと人になつき、カモに近いとなつきません。その年によって性質が違います。今年のアイガモたちは人間を全く警戒していません。毎日餌をあげる私たち（捕まえるときに苦労しないため、1日1回クズ米などの餌をあげています）はもちろん、道行く人誰にも「グワーグワー」とくっついていくので、近所の人たちも面白がっている様子です。体が大きくなってきて食べるものが足りないのか、最近は脱走癖がついて困っています。といっても、遠くに行くわけではなく、近場の田んぼに出張するだけなので、けっこう喜ばれているみたい。餌を持っていくと慌てて戻ってくるのほどの距離に留まっています。背後から「グワーグワー」と声がするのでびっくりしますが、自由きままなカモたちです（苦笑）。



田植え以降、コイとカモとヒトがせっせと除草してきましたが、そろそろ穂がでてきます。稲穂が出て花が咲いたら、田んぼには入りません。畦の草を切る作業は子供と一緒にできないので、主に耕太がやっています。朝夕の見回りも耕太。アイガモと同じように、人懐っこくて常にお腹をすかせている3人息子と夫がグワーグワー！と待っていますから、私は台所にて炊事です。

最後に一つ、田んぼ以外の話題を。佐賀にある玄海原発が再稼動するかどうか、目が離せない九州。熊本では「さよなら原発映画祭」という催しがあったので行ってきました。観たのは「100,000年後の安全」というフィンランドのドキュメンタリー映画。放射性廃棄物を埋蔵する施設を建設中なのですが、無毒化するはずの10万年後まで安全に（！）埋蔵しておけるのか。今から10万年前といえば、ネアンデルタール人の頃。その頃の人々が文字や絵を残していたとしても、私たちが完全に理解することはできないでしょう。今から10万年後の人類が「危険、開けるな」とかかれた埋蔵施設の戸を開けないなんて、誰が保障できるのでしょうか。そんな内容の映画でした。映画の後には、元原発技術者・菊地洋一さんのお話会。「原発の技術的なことを詳しく知らなくてもいい、イヤなもんはイヤでもいいから、行動を起こして欲しい」とのメッセージ。その言葉に背中を押された私たちは、その翌々日に佐賀県庁で行われたデモに参加してきました。「福島を返せ！」という避難者の叫びが胸に響きました。ただ、ごく一部が主導する喧嘩腰のやり方には馴染むことができず、今後は私たちなりの方法で行動して行きたいと思います。自分たちの未来は自分たちで選べると信じて。ちなみに横断幕を持っているのは、俳優の山本太郎さんです。



稲刈りまであと約2ヶ月。私たちにとっては長い長い2ヶ月です。月末には子供合宿も企画。O2ファームのブログ「百笑日記」(<http://d.hatena.ne.jp/o2farm/>)もぜひ覗いてみて下さいね。皆さまどうぞお元気で！

